

2025国際ロボット展 iREX 特別企画・110周年対談

# AIロボティクスが 開く社会、魅せる未来

安川電機が創業110周年を迎えた。炭坑用電機品を祖業とし、100年の間「電動機(モータ)とその応用」を事業領域に定め、業容を拡大し続けた。1960年代には電機品を電子制御する「メカトロニクス」を、そして2017年にはそのメカトロニクス製品にデータを活用することで、顧客の持続的な生産性向上を実現するソリューションコンセプト「i<sup>3</sup>-Mechatronics(アイキューブ メカトロニクス)」も生み出した。ロボット業界は今、DX(デジタル変革)、AI(人工知能)の導入で過去にないスピードで進化している。明日開幕する国際ロボット展(iREX)を前に、今年創刊110周年を迎えた日刊工業新聞社社長の神阪拓が安川電機の小川昌寛社長と、AIとロボットが開く未来を語り合った。



安川電機  
代表取締役社長

## 小川 昌寛

### モータこそ アイデンティティ

**神阪** 110周年おめでとうございます。ロボットを含めグローバルに成長しましたが、110年間不変なのはモータが基軸という点にあります。DNAの中心はモータであり、モータこそが当社のアイデンティティです。

**神阪** 時代の変化も技術革新も、かつてないほど早くなっています。自動化、デジタル化の進展は驚くほどのスピードです。工作機械でもロボットでもDXが大きなテーマになっています。

**小川** モータにしてもロボットにしても、効率化や生産性向上に寄与する欠かせないツールとなっています。デジタル化はいまや当たり前前の世の中ですが、デジタル化したデータをどれだけ具現化して活用するかが重要です。当社はソリューションコンセプト「アイキューブメカトロニクス」を提唱し、デジタルデータの活用を後押ししています。

**神阪** AIも急速に進化しており、もはや製造現場だけでなく日常にまで溶け込んでいます。AIが社会に与える影響、ロボットとAIが融合したAIロボティクスの将来像をどう見えていますか。

**小川** ロボットの利活用が本格的に議論されるようになったのは人手不足からです。ただロボットができることはほんの一部で、できないことの方が多いためです。ロボットは一部の省人化、省力化業務だけ

ではなく、多様な柔軟なタスクに対応する能力が求められています。AIが状況を理解し、計画を作ればロボットも動きます。適応領域が広がっているのです。ただまだ創造性を語っている段階にすぎず、期待値先行でスピード感も技術の発展より遅れています。ロボットは魔法のように思ったことができるわけではありませんが、それでもAIロボティクスには期待しています。利活用の場面をどれだけ広げることが重要でしょう。

**神阪** 米半導体大手のエヌビディアと協業し、ロボット業界で初めて高性能画像処理半導体(GPU)を内蔵した自立制御ユニットを「MOTOMANN NEXT(モートマン ネクスト)」に搭載しました。富士通と3社連携も公表されました。

**小川** エヌビディアとはソフトウェア、AIを含めて以前から連携しています。IT領域が強い富士通との協業も進めます。ただ当社は特定の企業とだけ連携を深めるわけではなく、顧客のニーズに対しては、どこでも協業する必要があります。当社の製品は社会に貢献できると確信していますし、ロボットの需要が増えればそれだけ新たな市場が広がります。

**神阪** 米ウイスコンシン州に今後10年間で約260億円を投じて工場建設を決めました。米国内でのロボット生産は初めてとなりますが、狙いを聞かせて下さい。

**小川** 数量を高めるための投資ではなく、生産の付加価値とグローバルでの利益向上が目的です。モノづくりで仕事の勢いを失ったとはいえ、AIロボティクスの本家本元である米国はいまだ底力を持っています。半導体強化も打ち出しており、投資のタイミングは今だと判断しました。民生用では自動車の無人運転とAIロボティクスがキーになるでしょうが、製品を一から輸出してはなかなか信頼を得られません。米国を主力拠点の一つに高めるための投資に踏み切りました。

### 米国を 主力生産拠点に高める

**神阪** ロボット事業はこれまで自動車や機械分野で成長してきました。AIロボティクスの進化で事業領域が広がると言われています。小川 何がと云えないくらい可能性はいろいろあります。農業、食品、物流、医療、創薬などあらゆる領域に期待値がありますが、多くの分野は主体者が不在で、継続性もありません。今は医療も農業もデモンストレーションにとどまっています。いずれにしても単なる「モノ売り」の発想では成功しません。AIロボティクスやヒューマノイドといったキーワードで将来の話をしても、市場が見えない以上慌てても仕方ありません。周到に準備を進め、何が起きてモータを動かすことで、「コト」を成すという軸はぶれません。

**神阪** 100年に一度の変革期と言われるこれからの時代、求められる人材はどうお考えですか。

**小川** 要素技術もモータ技術も、もはやそれほど変わりません。エンジニアリングは技術領域ではなく、相手のコトの場面に對する作り込みが求められるのでエンジニアリングプロモーターのような人材が必要ではないでしょうか。

**神阪** 明日開幕する「2025国際ロボット展」は、世界14カ国から過去最多の出展者が最新のロボットやサービスを発表します。期待や課題などを伺えますか。

**小川** 展示会として変わり目の時期であり、変わって欲しいタイミングでもあります。AIが本格的に主役として訪れます。我々メーカーも技術者もそして顧客も、次のアクションにつながる気持ちの場にならなければいけません。積極的に発信するので、市場を勇気づける場になればとも思っています。そこそこがこれからのロボットが発展する力になりますから。

**神阪** 本日はありがとうございます。

### ロボ展は 市場を勇気づける場

**神阪** 明日開幕する「2025国際ロボット展」は、世界14カ国から過去最多の出展者が最新のロボットやサービスを発表します。期待や課題などを伺えますか。

**小川** 展示会として変わり目の時期であり、変わって欲しいタイミングでもあります。AIが本格的に主役として訪れます。我々メーカーも技術者もそして顧客も、次のアクションにつながる気持ちの場にならなければいけません。積極的に発信するので、市場を勇気づける場になればとも思っています。そこそこがこれからのロボットが発展する力になりますから。

**神阪** 本日はありがとうございます。

**小川** 展示会として変わり目の時期であり、変わって欲しいタイミングでもあります。AIが本格的に主役として訪れます。我々メーカーも技術者もそして顧客も、次のアクションにつながる気持ちの場にならなければいけません。積極的に発信するので、市場を勇気づける場になればとも思っています。そこそこがこれからのロボットが発展する力になりますから。

**神阪** 本日はありがとうございます。

### 人とロボットが共存した新たなモノづくりの実現



人と同じ空間で協働して作業を行える「人協働ロボット」

## 原動力は北九州。 動かすのは世界。

### 社会の持続的発展に向けたメカトロニクス技術の応用



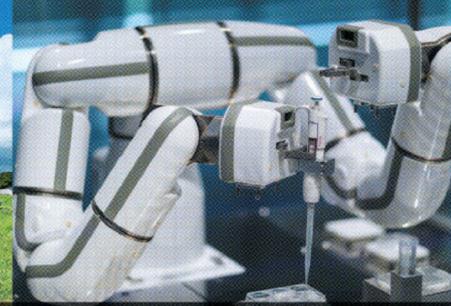
省エネ・環境負荷の低減



植物工場の自動化・省力化



再生可能エネルギーの普及



医療・バイオメディカルへの貢献